

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	向島保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 26 年 11 月 18 日

総 評	<p>向島保育園は、昭和10年に向島隣保館託児所として開設され、昭和20年頃より地域の民生児童委員による運営となり、昭和49年に社会福祉法人の認可を得て現在に至っています。社会福祉法人となってからも、民生児童委員が理事の構成の中心を担っており、地域住民と共に歩み連携した運営に努めています。近隣の小中学校を始め関連機関との連携や、地域に根ざした行事を実施しています。</p> <p>園長は毎朝、登園時に子どもを迎えに出るなど、園児や保護者との関わりを大事にしています。</p> <p>地域子育て支援ステーションも設置し、園庭開放や育児相談、子育て講演会などの実施、また、地域の小学校との交流会実施や、近隣中学3年生全員の保育体験学習など、地域との良好な関係を築き、子育て家庭を支えていけるよう取り組んでいます。</p> <p>新たに分園を開設するなど、施設の充実にも力を注いでおり、一人ひとりの子どもが園生活を楽しめるよう責任を持って運営に努められていることが伺えました。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長・主任は毎朝の朝礼や、毎昼の連絡会、毎月の職員会議、随時開催する職員で構成する各研究部のミーティングや、各年齢からリーダーが一人参加して行われるリーダー会議を実施し、園の方針に沿った保育が実施されるよう取り組んでいます。 ・ 自治会、老人会、民生児童委員との連携を大切にしています。地域の小学校と年2回交流事業の実施や児童館学童クラブの指定管理者になるなど、地域とのかかわりを大切にしています。また、地域子育て支援ステーション事業として、月2回の園庭開放や子育てに関する講演会、園医による発育相談、歯科衛生士、保健師、栄養士らによる健康診断や相談も行っています。 ・ 園内は清潔に保たれており、日々の清掃を丁寧に実施している事が伺えます。各保育室には、コーナー遊びやマット、畳敷きのスペースが整備され子どもたちが落ち着いて過ごせるよう配慮しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修成果に関する定期的な評価を行い、次の研修計画に反映するとより良いでしょう。 ・ 個々の職員による自己評価を継続的に実施し、保育の質の向上や改善に取り組むとより良いでしょう。 ・ 日々の目視による遊具や施設の安全点検を、チェック表等に基づいて定期的に確認されるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	向島保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	2014年11月18日（火）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・園の保育理念・保育方針・目標が明文化されており、入園進級のしおりやパンフレット、ホームページに記載されています。それらは、年度初めに全職員に配布している冊子「保育園運営にあたって」に明記され、職員会議で園長・主任より毎年説明を行い周知に努めています。保護者に対しては、「入園進級のしおり」に記載し、入園説明会等で周知しています

・保育課程を作成し、それに基づき年間指導計画や月ごとの指導案で個々の保育場面についての標準的な実施方法を定めています。毎月、計画の評価・反省を行い、次の計画に反映させています。また、年間指導計画と月別指導計画を各保育室に掲示し、保護者への周知に努めています。

・園長と主任は毎朝の朝礼や、毎昼の連絡会、毎月の職員会議、随時開催する職員で構成する各研究部のミーティングや、各年齢からリーダーが一人参加して行われるリーダー会議を実施し、園の方針に沿った保育が実施されるよう取り組んでいます。また、園長は毎日の送迎時に入り口に立って挨拶を行い、保護者や子どもとの信頼関係構築に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

・園長は、地域の保育ニーズに応えるため分園の設置や、児童館の指定管理者、子育て支援ステーションなどに取り組んでおり、福祉サービス全体の動向に注視した運営を行っています。

・人材に対する基本的な考え方が明示されており、それに基づいて人事管理を行うと共に、管理者を中心として人材育成に努めています。全職員に対し就業状況等にかかる意向調査を年2～3回実施すると共に園長との面談も年1回実施し、次年度の体制に反映させています。育児休業明けの短時間勤務制度の利用があり、職員の育児を支える仕組みが活用されています。

・職員の担当クラスや勤務年数、担当の研究部に沿った研修に、職員の希望を考慮したうえで参加する仕組みがあります。毎月1回、職員会議で研修内容の発表を行うようにし、職員間でその内容を共有出来るよう取り組んでいます。また研修の報告内容は全職員に回覧しています。今後は、研修成果に関する定期的な評価を行い、次の研修計画に反映することを望みます。

・設立後80年と、向島地域で最も古い子育て支援施設です。現在も自治会、老人会、民生児童委員と連携を図っています。平成18年からは、関連小学校と年2回交流事業の実施や児童館学童クラブの指定管理者になるなど、地域とのかかわりを大事にしています。また、地域子育て支援ステーション事業として、月2回の園庭開放や子育てに関する講演会、園医による発育相談、歯科衛生士、保健師、栄養士らによる健康診断や相談も行っています。

・卒園児が毎年ボランティアで園に手伝いに来たり、近隣中学の3年生全員の体験学習や、保幼小中で統一挨拶デーを決めて挨拶運動を実施するなど、園発信で地域の活性化に繋がる取り組みを実施しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

[自由記述欄]

・個人情報保護に関するマニュアルを整備するとともに、それに対する職員との誓約を交わしています。苦情解決の仕組みを整備しています、また年末に保護者アンケートを実施し、その内容や園の考えを公表しています。

・第三者評価受診にむけて評価委員会を設置し、職員による保育内容についての自己評価を実施しています。今後は、個々の職員による自己評価を継続的に実施し、保育の質の向上や改善に取り組むとより良いでしょう。

・子どもに対する記録は、園指定の書式によって記録管理しています。それらに記録されている子どもの状況や発達について必要な場合は、職員会議等で情報を共有するようにしています。現在、記録された書類は全て保存していますが、今後、保存破棄に関する規程に沿って管理されるとなお良いでしょう。

・利用希望者に対して、随時園見学を受け付けています。園のパンフレットやホームページがあり、園情報の提供に努めています。新入園児は入園説明会にて、しおり等により保護者にわかりやすく園の生活面での決まりごとや、料金等の説明を実施しています。保育の継続性については、他の園へ転園する場合、必要な情報等は伝えるようにしていますが、引継ぎの送りの手順や定められた文章等は現在作成していません。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

・登園時や保育中の子どもの健康管理に関するマニュアルや感染症対策マニュアルがあり、入園のしおりで保護者にもその内容を知らせています。内科健診・歯科健診の結果を健康記録に記録し、内容を、その年の傾向などと共に、保護者へ伝えています。

・園が管理している農園があり、子どもたちに苗植えや収穫の体験が出来るよう取り組んでいます。収穫した野菜は、子どもたちで皮を剥いたり、洗ったりして、給食やおやつのできる食材として使用しています。子どもの様子は保護者にも伝え、サンプルを掲示しています。アレルギー疾患をもつ子どもに対しての除去食は、医師の指示のもと見た目があまり変わらないよう配慮し代替食を提供しています。「きゅうしょくニュース」を保護者に配布し、子どもの食事マナーや食に関する情報を伝えています。

・園内は清潔に保たれており、職員は環境整備や清掃を積極的に行っています。各保育室には、コーナー遊びやマット、畳敷きのスペースが整備され子どもたちが落ち着いて過ごせるよう配慮しています。一部保育室やホールは可動式の壁で仕切られており、保育の内容や行事に応じて広さを調整できるように工夫しています。

・一人ひとりの子どもの発達や状況に応じて日々の保育を行うよう努めています。子ども自身が、自分からやろうとする気持ちを大切に言葉がけや配慮を心がけています。地域との交流も積極的に行い、園外保育や地域行事への参加、高齢者施設訪問などを実施しています。また、年中年長児を対象とした体操教室を月3回、幼児を対象とした音楽教室を月1回実施しています。造形活動の取り組みや日々の絵本や紙芝居の読み聞かせなど、年齢に応じた様々な活動や体験が出来るよう取り組んでいます。

・乳児保育や長時間にわたる保育の内容が整備されており、落ち着いて過ごせる環境があります。SIDSに関する知識を職員間で共有していますが、今後は、SIDS防止の睡眠観察記録を作成されるとより良いでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

・日常的な情報交換は、送迎時の保護者対応時や0~2歳児は連絡帳により行っています。又、年2回の個人懇談や年1回の保育参観を実施し、保育の共通理解を持てる場を提供すると共に、懇談内容や家庭の状況は児童票等に適切に記録されています。その内容は、職員会議等で確認・共有し、会議録も回覧しており非常勤職員を含む全職員が確認できるよう取り組んでいます。

・虐待に関して、気になる事は些細な内容でも会議等で管理者に伝わるようにしています。児童虐待の通告連絡先を明示すると共に、地域の小中学校とも連携し対応する体制を整備しています。

・一時預かり事業は現在実施していません。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

・衛生管理マニュアルを整備し、定期的に見直し、実態に沿った内容としています。また、園児の病気や事故、緊急時の対応等をまとめた安全及び感染症マニュアルを整備し、全職員に配布し周知の徹底を図っています。

・園内のヒヤリハット記録を作成し、事故防止に努めています。今後は、日々の目視による遊具や施設の安全点検を、チェック表等に基づいて定期的を確認されるとより良いでしょう。